



町民インタビュー 聞かせて

地域を超えて



1月10日、和寒町卓球協会の小中学生と指導者の皆さんに、総合体育館でお話を聞かせていただきました。

活動内容は？

毎週水曜日、19時から21時まで総合体育館で練習しています。

人数が少なく少年団ではありませんが、小中学生4名で活動しています。

練習内容は？

基礎練習や玉を素早く取るためのフットワーク練習、大会に勝つことをイメージしたゲーム練習をしています。

練習は面白い？

スマッシュや突つき、ゲーム練習は楽しいけど、バックやフットワーク練習はあまり好きじゃない。

どんな目標あるかな？

(中学生) 練習を頑張つて、全道大会では2勝以上したい。

中学校いっても続けたい？

(小学生) 中学校でも部活に入つて続けたいです。

指導者にインタビュー

町外からも来られて指導されていますね。

以前から、和寒との交流がありました。

卓球をする学生も減少するばかりですし、指導する方も、それぞれの事情でできなくなっているのが現状です。

頑張っている学生を応援したい気持ちがあつて、私達も楽しく触れ合いながらやっていますし、保護者の方にもお手伝いさせていただかっています。



保護者にインタビュー

幅広い年代との練習が良いですね。

今後、部活動の地域移行が進められていく中で、この練習風景は良いモデルのように思います。

また、練習環境も整つており申し分ありません。高齢の指導者から見ると孫の存在の方との練習は、時にライバルとしての関係を感じさせる場面もあり、お互いに良い刺激になっていると思います。



広報委員の一言

辰年の幕開けは、能登半島の震災と航空事故といった衝撃の事態から始まった。

本町も、洪水やブラックアウトを経験してきたが、地震による火災や住宅倒壊での圧死は、この地でもあり得ることが想像される。

道北地方での地震は、これまで極めて低い確立と言われてきたが、忘れたころにやってくるのが天災。

地球は環境破壊によって沸騰化に向かっているようだが、次世代にこれ以上付けを回さないように、今やれることは何か、今一度考えてみたいですね。(敏一)

議会傍聴のご案内

定例会の予定

2月28日、3月4日

3月7日、3月14日

みなさまのお越しをお待ちしています

12月定例会の傍聴者

8名